

# 研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&amp;FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp

## 研修講座 算数・数学

### 「教え込みの算数授業からの脱却」

【講師】 筑波大学附属小学校 森本隆史先生

8月23日（火）、筑波大学附属小学校の森本隆史先生をお迎えし、「教え込みの算数授業からの脱却」と題して、ご講義いただきました。

初めに教師が子どもから、「考え」「表現」「やる気」「本気さ」「わからなさ」「関わり合い」「やさしさ」「笑顔」を引き出すことが大切であり、教え込んでいけばいくほど引き出すことができないという話がありました。この中で、子どもから「わからなさ」を引き出すために、教師自身が、子どもの困り感に応えるのではなく、子どもの考えや気持ちを教師の言葉がけでつないでいくことで「わからない」と言える安心感を作っていくことが重要であることを学びました。具体的には、「わかった?」「できた?」と投げかけるのではなく、「難しかった?」「今のどうだった?」「先生もよくわからなかったなあ。」と投げかけることで安心感を生んでいくことがわかりました。



後半には、子どもが「楽しい」「できるようになりたい」といった気持ちにさせるため、教科書通りから脱却することの大切さについて話がありました。具体的には、「①教科書をしっかり見る」「②子どもの見え方・文脈について考える」「③授業技術を1つでも増やす」の3点が大切であり、中でも②の「子どもはどう見えているかな?」「考えたいと思うかな?」「もっとやりたいと思うかな?」など子どもと同じ目線に立って教師自身も教材研究を楽しむことが大切であることを学びました。本講座で学んだことを各校・園で還流していただくとともに2学期からの実践に活かしていただきたいと思います。



#### アンケートより【一部抜粋】

・子どもたち同士をつなぐこと、子どもたちから話したくなる言いたくなる教師の言葉がけについて改めて考えることができました。また、「文脈について考える」ということが今までよくわかっていないところがあったのですが、今日のお話を聞いて、子どもの思考、見え方に立って、どう見せるかを考え、予想していくことが大切であることがわかりました。(小)

・子どもから「引き出す」ための様々な方法を教えていただきました。自分自身もよく生徒へ「わかった?」と聞いてしまいましたが、その聞き方がわかっている生徒だけで授業が進んでいってしまう危険性があることに気づけてよかったです。また、多様な考え方を引き出す方法や数にこだわり展開を考えていくことなど具体例を通してわかりやすく説明していただきました。この気づきを大切に今後の授業実践に活かしていきたいと思えます。(中)